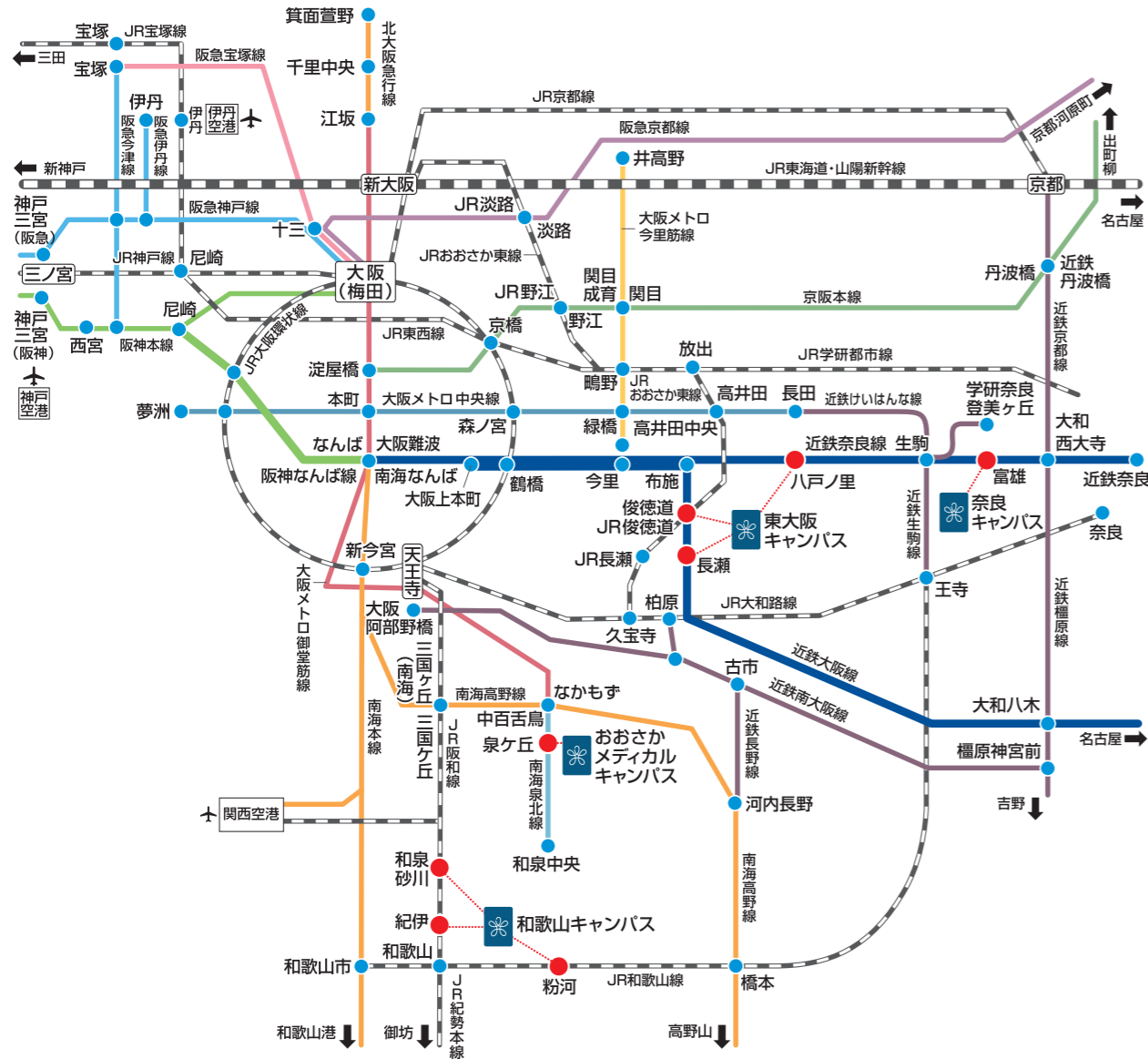
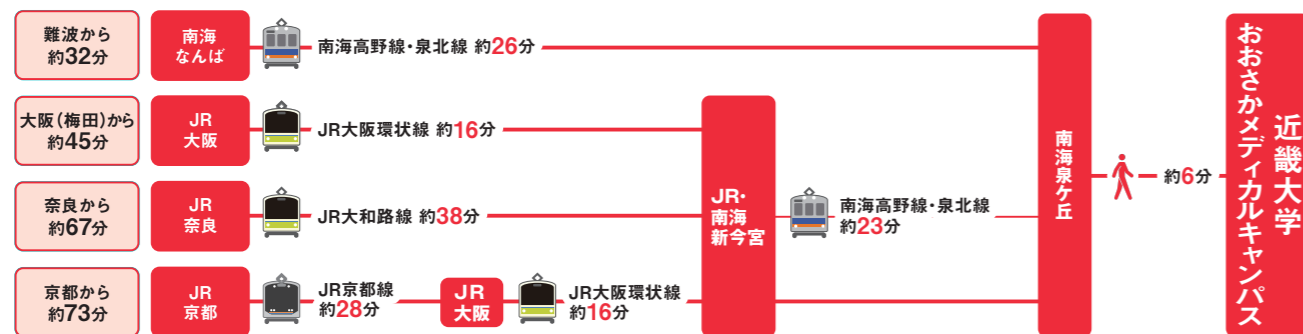


交通アクセス

路線図



各主要駅からの経路・所要時間(目安) ※各最短ルートを選択した場合。乗り換え時間は含みません。



近畿大学医学部

医学科

2027



近畿大学医学部のイイところ、

西尾 和人 学部長
A New Campus
where
Good Doctors grow

あらゆる診療科で臨床経験を積むことができる。
多彩な実践教育。
様々な学年の先輩と交流できる！
多様な仲間と切磋琢磨
好きな学問にチャレンジできる!!
自然に囲まれてのびのび医学を学ぶことが出来る!
海外を意識した授業が受けられる!
温かくて面白い人々に囲まれている!!
留学生との交流が楽しい!!
1年から病院実習が行える!!
友だちも先輩もみんな優しい
1年生で解り実習があり、興味のある分野ととことん追求できる!
卓球、剣道、CPC部、勉強のすべてを両立できる!!

医学科[5年] 滋賀県立彦根東高校出身
医学科[3年] 千葉県・暁星国際高校出身
医学科[1年] 大阪府・四天王寺高校出身
医学科[1年] 愛知県・金城学院高校出身
医学科[2年] 大阪府・明星高校出身
医学科[4年] 大阪府・関西学院千里国際高等部出身
医学科[3年] 広島県・AICJ高校出身
医学科[3年] 兵庫県・須磨学園高校出身
医学科[3年] 徳島県・徳島文理高校出身
医学科[1年] 大阪府立三國丘高校出身
医学科[2年] 大阪府・関西外語専門学校国際高等課程出身
医学科[2年] 三重県・高田高校出身
医学科[2年] 兵庫県・小林聖心女子学院高校出身

スキなところは？

クラブと勉強を両立したい!!
先生がフレンドリーで相談しやすい!
クラブ活動が盛んで、学生生活を満喫できる!
新しい病院と設備で勉強することや、遠くからの来校と連携して学ぶ
先輩や先生との距離が近い!
個性豊かな先輩と関わりたい
様々な世代の学生との交流と楽しむことができる!
留学にチャレンジできる環境がある!

医学科[2年] 岡山県立津山高校出身
医学科[3年] 兵庫県・六甲学院高校出身
医学科[5年] 和歌山県・智辯学園和歌山高校出身
医学科[4年] 奈良県・帝塚山高校出身
医学科[2年] 愛知県・南山高校女子部出身
医学科[3年] 北海道・札幌光星高校出身
医学科[3年] 筑波大学附属駒場高校出身

医学部の最新の情報はここでチェック
随時更新中!

医学部のより詳しい情報については、医学部の公式ホームページをご覧ください。「ニュース&トピックス」や「最新の研究業績」は常に更新されています。定期的にチェックして、興味深い話題を発見してください!

ホームページへアクセス!
スマホ版もこちらから
<https://www.kindai.ac.jp/medicine/>



近畿大学 医学部

CONTENTS

学びの特長

- 03 おおさかメディカルキャンパス施設紹介
- 07 キャンパスマップ/施設/病院
- 09 医師・研究者紹介

6年間の流れ

- 11 自学自習の姿勢が身につく、医学部の6年間とその後

学科・実習紹介

- 13 1・2年生
- 14 3・4年生
- 15 4・5・6年生
- 17 充実したカリキュラム

共用試験/国家試験対策

- 18 試験合格に向けたきめ細かな対策プログラム

国際交流

- 19 医学部海外研修プログラム
- 20 プログラム参加者の声

キャリア

- 21 臨床研修プログラム/専門研修プログラム

大学院

- 22 医学研究科/実学社会起業イノベーション学位プログラム

キャンパスライフ

- 23 クラブ紹介
- 24 医学部生の1日

学生サポート/奨学金

- 25 学生サポート/奨学金制度

医学部の教育方針

- 26 医学部の教育方針

*掲載されている学生の学年表記は、2025年度のもので、また教員組織は2026年度のもので、2027年度は変更になる場合があります。

最先端の環境で、 医療の未来を学ぶ

おおさかメディカルキャンパスには、交流が生まれる開放的なラーニングコモンズをはじめ、集中して学べるラーニングブースや医学部生専用の電子カルテ閲覧室などの施設が充実しています。医学部の校舎と病院の垣根を越え、教育・研究・臨床が一体となった先進的な学習環境を実現。主体的に学べる空間で、実践力と創造力を育みます。

ラーニングコモンズは、学生に主体的な学びの場を提供するため、従来の自習室のような学習スペースとしてだけでなく、グループ学習など協同で議論を深めプレゼンテーションなどの発表も行える場として、また、得られた知識を共有する場としても利用できるようになっています。多様な家具の配置空間を構成し、開放的で学習効果を高めることを目的としたスペースです。

学びの特長
おおさかメディカルキャンパス

ラーニングコモンズ

ラーニングブース



学生電子カルテ閲覧室



図書館



テラス



シミュレータなど最新機器を活用して 医療現場に近い実習を実現

A氏(80)男性 170cm 70kg

急よりハートコール

呼吸 NYHA4

前: 労作時呼吸困難を認めていた
後: 徐々に悪化傾向と共に動悸出現
起坐呼吸が出現し、制限困難となったためQQコール

搬送中に意識

令感著名

下腿浮腫 ++



患者診療に従事する臨床実習を行うには、知識面での基礎的な学力に加えて、一定レベル以上の診断量や手技が必要となります。触診、聴診といった技能を身につけるうえで、今や医学シミュレーション教育は欠かせない存在です。また、腹腔鏡手術、内視鏡手術など高度化していく医療に対応した手技を習得するうえでも、シミュレーション教育の重要度は増えています。こうした背景から近畿大学医学部では、シミュレーターなど最新機器を実習に取り入れ、実際の医療現場に近い形で診療技能を学べる環境を整えています。また、手技の習得には繰り返しのトレーニングが欠かせませんが、シミュレーションセンターは申請によりいつでも利用できるため、学生たちが自主的にトレーニングを積むことも可能です。実際の臨床の現場で高いレベルの診断・手技が行えるよう、環境面の充実を十分に図っています。

AST	19	CK	355
ALT	19	LDH	249
ALP	102	PT(INR)	1.49
AMY	55		
ABE	-4.7	UA	10.2
CFE	-8.1	TP	6.6
CKMB	7	GGT	44
Alb	3.6	WBC	5.14
A/G	1.2	HGB	15.6
T Bili	2.65	PLT	11.1
D Bili	1.0		



学びの特長
シミュレーションセンター

心臓病診察トレーニング

実際の患者さんから録音編集した心音を内蔵しており、動脈の触診、静脈の視診に加え、心電図を見ながら心音を聞き分けるトレーニングを行います。



内視鏡手術トレーニング

内視鏡手術の基本技術を習得するためのシミュレーション。練習用の鉗子を用いて小さなビーズをつかんだり輪ゴムを引っかけたりする動作、縫合手技を練習します。



腹腔鏡下手術トレーニング

高度なバーチャル訓練シミュレータを用いて、腹腔鏡手術に関する一連のトレーニングを行います。解析ソフトにより、自身の習熟度が確認でき、効率的なトレーニングが行えます。



BLS(一次救命処置)トレーニング

心停止や呼吸停止などの緊急事態において、迅速に適切な対応をするための技術を学びます。心肺蘇生法(CPR)、自動体外式除細動器(AED)の使用方法、気道確保など、命を救うための基本的な手法を習得します。



縫合手術トレーニング

模擬皮膚を使用して、さまざまな縫合手技を習得するためのトレーニング。合成繊維製糸など異なる素材の縫合糸を使って手技を身につけます。



腹部超音波診断トレーニング

超音波に対して人体と同じ特性をもつ素材で解剖学的に正確に再現したシミュレータを用いて各臓器や主要な上腹部消化管を、超音波診断装置の基本操作方法を習得します。



呼吸音聴診トレーニング

実際に患者さんから録音した35症例の肺音を聴取可能。前面と背面から聴くことができ、診療手順を忠実に再現した実習を行います。



VR

高度な手技や稀な症例を「いつでも・どこでも・何度でも」繰り返し学習することができます。VRを通してリアルに近い体験を積むことで、自信を持って病院実習に臨むことができます。



2025年に誕生した新校舎で、快適かつ充実した学びを実現。

最新鋭の病院が併設されており、実習環境も万全です。
 周辺の緑地や緑道と調和する囲いのない開放的な空間で、心豊かな学生生活を送りましょう。



駐車場

6号館
(臨床研究棟)

5号館
(研究棟)

1号館
(外来棟)

2号館
(診療棟)

4号館
(教育棟)

3号館

7号館
(管理棟)

体育館・
グラウンド

テニスコート

立体
駐車場

駐車場



食堂



人工芝グラウンド



教育棟周辺



保健管理室



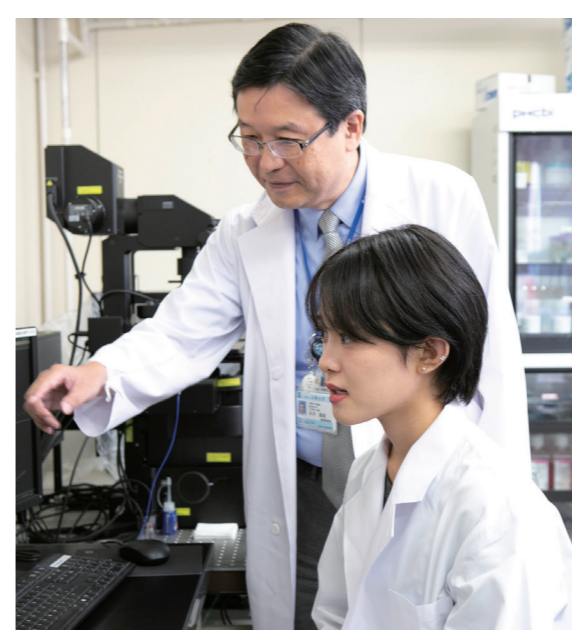
学生相談室



茶室

TOPICS

1年次から研究に参加する学生も



高校生の頃から、認知症の原因の大部分であるアルツハイマー病を誘起するアミロイドβの異常凝縮に興味を持っていました。研究がどのようなものかもわかっていませんでしたが、入学当初から興味のままに研究室を訪れ、教授の指導のもと、研究に参加するようになりました。研究によって、ある漢方薬がアルツハイマー病の原因タンパク質であるアミロイドβ凝集を減少させる効果を持つことがわかりました。現在はアミロイドβ凝集の減少はそもそもタンパク質発現システム自体を抑制してしまっているのか、それともアルツハイマー病の原因タンパク質を特異的に抑制できているのかについて調べています。教授が論理的に考える力を身につけられるように指導して下さるので、わからないことがあっても、まず自分なりの仮説を立てる癖ができました。今後は教授に頼らず、自分で考え実験を計画的に進められるようになりたいです。低学年のうちから研究を行ったことによって、自分の将来像をより具体的に考えられるようになったと思います。4年生になった今は、将来、研究と臨床にどのようなバランスで関わっていきたいか考えています。いよいよ臨床実習が始まったので、実際に患者さんとコミュニケーションをとったり、治療の現場を見ながら、研究によって臨床に何をもたらせるようになりたいのか考え、実習や研究に臨みたいと思います。

医学科 [4年] 宮城県立宮城県仙台二華高校出身

学びの特長
キャンパス/施設/病院

臨床と研究の最前線で活躍する教授陣から学ぶ

近畿大学病院の臨床と研究の最前線に立つ医学部の教授陣。

多様な診療科が揃う総合病院だからこそ、専門性の高い学びや経験を積むことができます。

谷崎 潤子 講師
内科学教室(腫瘍内科部門)

原発不明がんの臨床・研究に情熱を注ぎ、
オブジーボを評価した医師主導治験の主要メンバー

原発不明がんの研究を前に進め リーダーとしても成長したい

原発不明がんは稀少疾患で、大がかりな治療開発が難しい状況。少しでも患者さんの選択肢が増えるように我々医師が治験を主導した結果、使用できる薬剤が増えました。私は臨床と研究どちらにも力を入れています。それは目の前の患者さんを治すだけでは限界を感じるから。新たな薬や技術を研究することで前に進めると考えるからです。10年以上がん診療に携わっていて、心身ともに大変と思うことは多々あります。しかし不思議とこの領域から離れようと思ったことは一度もありません。新たな治療戦略が日進月歩で開発されるなかで、疾患・治療対象としてがんへの興味は尽きることがありません。また、それ以上に一人ひとりの患者さんの人生の大切な時間を自分に委ねてもらっているという自覚や、自分に何ができるかという気持ちが原動力です。男女問わず医師の働き方はさまざま。女性だからと自分に上限を設けてしまうのはもったいないと思います。今後はリーダーとして成長していくことが目標です。

頼 晋也 主任教授
内科学教室(血液内科部門)

日本で最も質の高い血液診療を提供できる組織をめざし、世界に向けて研究成果を発信
同時に、若い医師が安心して力を発揮できる環境づくりに力を注ぐ

アップデートが早いぶん、医療の進歩が 患者さんの未来を変えることを日々実感

学生時代に血液・膠原病内科をローテーションした際、医局の雰囲気温かく、患者さんたちも明るく前向きだったことに心を動かされました。血液・膠原病内科は、新薬の登場や遺伝子異常を含む分子病態のアップデートが非常に早く、常に知識を更新し続ける必要があります。私の専門は悪性リンパ腫ですが、これまで治癒が難しいと考えられていた症例でも、現在では高い確率で治癒に導くことが可能になってきました。医療の進歩が患者さんの未来を大きく変えていくことを、日々の診療のなかで実感できる点が大きなやりがいです。学問的にも常に新しい知見が生まれるため、研究のアイデアが湧き、実際に研究として形にしやすい環境が整っています。臨床と研究が互いに刺激し合い、治療の進歩に直接つながる実感を得られることが、この領域の大きな醍醐味です。これまで医師として歩んできて強く感じるのは、どんなキャリアにも「自分で選び取った一歩」が確実に未来を形作っていくということ。悩む時間は誰にでもありますが、時間は有限です。準備が整うのを待つ必要はありません。まず踏み出し、そのあとで考えながら修正していく。その積み重ねこそが、自分の納得できる道につながっていきます。

宍戸 由紀子 臨床教授
病理診断科

開業医だった父の背中に憧れ医学の道へ
病理医としてがんの病理診断を行う傍ら、精力的に基礎研究を行う

病理学は基礎と臨床の架け橋 誇りとやりがいを若手に伝えたい

私の専門は神経病理で、普段は主にがんの病理診断を行っています。患者さんを直接診るわけではありませんが、病理診断が患者さんの運命を左右することも責任は重大です。病理標本の向こう側一すなわち患者さんの状況や臨床医の判断—を正しく理解するため、電子カルテを丁寧に確認し、最大限のサポートができるよう臨床医とのコミュニケーションを心がけています。長く診断がつかなかった症例で病理診断が突破口となった時や、治療方針が病理結果によって明確になった時などに臨床医から「ありがとう」の言葉をもらすと、心からやりがいを感じます。一方で、研究者として「なぜ病気が起きるのか」を解明することも大切な仕事です。私が専門とする進行性多巣性白質脳症は、以前は致死疾患と言われていたものの、近年では早期診断で良好な臨床経過をとる患者さんもいることがわかってきました。自分の研究が不治の病の克服に部分的にでも貢献できたことを誇りに感じます。病理学は基礎と臨床の架け橋となる重要な仕事ですが、現在、病理専門医は医師全体の0.8%に過ぎません。今後は医学生や若手医師に病理学の魅力を伝え、将来の病理専門医を育てることに力を尽くしたいと考えています。

篠崎 広一郎 主任教授
救急医学教室

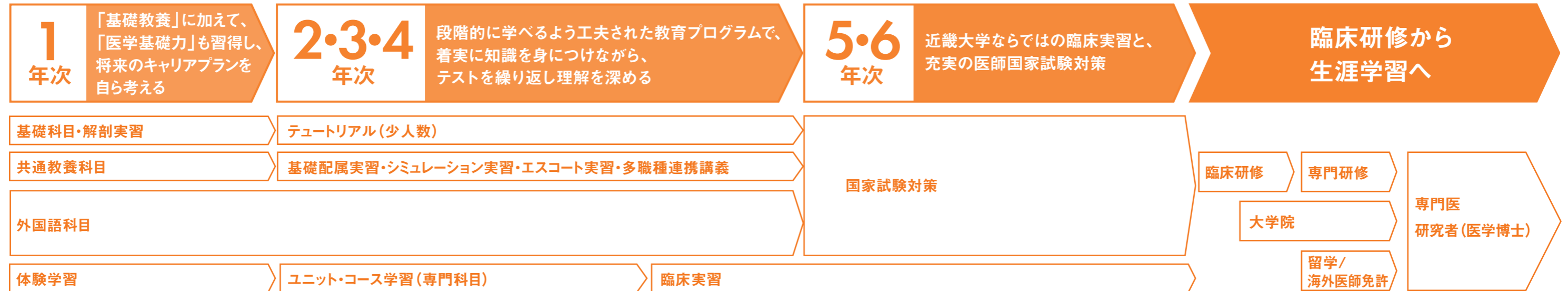
アメリカで10年間、救急(ER)、救命と研究のキャリアを積み、
帰国した現在も最前線で現場を率いる

命を守ることは尊厳を護ること 救命救急の現場に立ち続ける

一分一秒を争う患者さんを診る「救急(ER)」、命の危機に瀕する人を救う「救命」、そして真実を見極め未来を創生する「研究」、この3つを行っています。救命救急の医師としてキャリアを積んできましたが、「一分一秒を争う状態にはなくても困っている人がたくさんいる」と感じ、その人たちが救うためには自分のスキルを上げるだけでなく組織として動く必要性や、データを読み取り正しい判断をする能力を研究で培う必要性があると感じ、アメリカに渡りました。アメリカでは救急医療にさける医師の数や資本が多く、その仕組みについても知ることができました。医師不足が叫ばれる日本の医療ですが、医師の専門領域の偏在化が進んでいるように思います。そのなかでみなさんに伝えたいのは、医道に憧れをもってその道に進んだなら、その気持ちに素直に従って欲しい。それが楽な道ではなくても、自分にとって、そして患者さんにとって意味のある道であるなら、仮に行き詰まっても道はひらけるでしょう。私にとってはそれが救命救急であり、「命を守ることは尊厳を護ること」との思いで日々命と向き合っています。

自学自習の姿勢が身につく、医学部の6年間とその後

医師としての能力、人格を高め、グローバルな医療人材への成長も見据えた6年間のプログラム。学生一人ひとりの個性に寄り添った教育で、着実なステップアップをめざします。



幅広い基礎教養を身につける

医師・研究者として必要な社会意識や倫理観、幅広い基礎教養を身につけます。国際化がもたらす社会や健康・福祉への影響、環境汚染、国際感染症や国際保健医療協力についても学びます。医療や教養に関する英語、また英語でのコミュニケーション能力や読解力は、1～4年次までを通してグループによるアクティブラーニングやe-learningで養います。1年次から病院実習や解剖実習を行うのも特徴。将来を明確に意識し、学習のモチベーションにつなげます。

基礎医学から臨床医学を学ぶ

「自発的に問題の本質に気づく力」を養うことを目的に、少人数制で行われるチュートリアル。課題となる症例に対して、原因をつきとめるポイントや問題の解決方法をグループで話し合い問題解決力を磨きます。



いよいよ臨床現場へ

4年次からはじまる「臨床実習Ⅰ(ローテーション型クリニカルクラークシップ)」は、各診療科をローテーションして指導医のもと行う実習。患者さんの了承を得たうえで医療行為に及ぶことも。プライマリ・ケアから先端医療まで総合的な臨床教育を学び、豊かな人間性と医師としての倫理観・責任感を身につけます。

国家試験対策ヘシフト

5年次からはじまる「臨床実習Ⅱ(選択型クリニカルクラークシップ)」では、希望する進路にあわせて実習先を選択できるシステムを導入。実習終了後の6年次の7月頃には、内容がしっかりと身につけているかを確認する臨床実習後OSCE(Post-CC OSCE)を実施します。また、国家試験に準拠した内容の試験を1年に複数回実施し、国家試験対策へとシフトしていきます。

基本姿勢を身につける臨床研修

医師国家試験に合格すると、2年間の臨床研修がはじまります。臨床研修ではさまざまな診療科をローテーションし、臨床経験を積みます。その後、専門研修、留学など希望にあった選択が可能です。

専門的な臨床経験を積む専門研修

2018年から導入された専門研修プログラムに登録、実践中の医師は専攻医と呼ばれ、3～5年をかけた十分な臨床経験を積み、専門医試験に合格することで日本専門医機構認定の各基盤領域専門医資格を取得することができます。さらに各サブスペシャリティ領域専門医の取得も可能です。

6年間の流れ

TOPICS

特別講義や産学連携で最新トピックに触れる「医療イノベーション学」



「医療イノベーション学」は医学やその周辺分野で起きているイノベーションを軸に産学のトピックスから情報分析方法まで多岐にわたるテーマについて毎回異なる講師が担当する特別講義。2025年は「カレッジラボ」と題し、近畿大学医学部、堺市、そしてSENBOKUスマートシティコンソーシアムが連携して、北大阪健康医療都市(健都)の先進事例を学び、地域住民の主体的な健康増進活動を支援する取り組みを考えました。学生はフィールドワークを通して、ICT技術を活用した住民のヘルスクエアおよびウェルビーイング向上に資する案を発表し、表彰・講評が行われました。

プロフェッショナルとは何かのヒントを探る「プロフェッショナリズム/実習Ⅰ」



「プロフェッショナリズム/実習Ⅰ」は、プロフェッショナルな医師としての行動規範を実践するための素地となる、幅広い知識とスキルを学ぶ特別講義です。2025年度には、4回目となる講義が、近畿大学客員教授で一般社団法人mother ha.ha代表理事である大崎洋氏により行われました。吉本興業のトップとして長年第一線で活躍してきた経験を背景に、闘病中の患者さんの思いや心情に触れながら、安心・安全な医療サービスとは何かを多角的に考察し、医療の未来に新たな可能性を提示していただきました。

学修支援委員長インタビュー

一人ひとりに合わせた支援で、医師国家試験合格まで伴走

最終的な医師国家試験だけでなく、臨床実習に進むために必須の全国共用試験であるCBT(Computer Based Testing)や、普段の講義の知識の定着を図るための定期的な試験など、学習量の多い医学部生。そこで近畿大学医学部では、学年ごとに段階的な学修支援体制を整え、一人ひとりに合わせたきめ細かなサポートを行っています。

Q.普段の学習のサポートにはどのようなものがありますか？

1・2年生

成績や学習状況に基づき、進捗に不安のある学生には、メンター教員による定期的な個別面談などのフォローを行います。学習方法のアドバイスだけでなく、生活・メンタル面の相談など、きめ細かな支援が行われます。

3年生

引き続きメンター教員による定期的な面談を行い、勉強や学生生活をフォローします。また、CBT対策としてビデオ講座の実施や、メンターと情報共有するためのスプレッドシートを活用した情報共有が行われます。

5・6年生

学力テストの成績が伸び悩んでいる学生を対象とした集中的な講義や指導を実施します。苦手科目・領域を分析し、それに特化した講義編成や、必要に応じて個別指導も行われます。

Q.国家試験に向けたサポートにはどのようなものがありますか？

3・4年生

CBT全員合格を目標に、CBT模試を複数回実施し、苦手分野を早期に把握します。CBT問題と実際の試験内容の乖離を減らすため、総合試験問題のCBT化や診療科ごとの問題精査・改善を行っています。

5・6年生

内科実力テストや進級テストで成績が伸び悩んでいる学生を対象に、集中的な国家試験対策講義を実施します。また必要に応じて、医師国家試験専門の外部の予備校による個別指導も導入しています。



大塚 篤司 主任教授



医学科 [1年] 京都教育大学附属高校出身



医学科 [4年] 大阪府・近畿大学附属高校出身

学科・実習紹介

1・2年生 / 3・4年生

時間割 (1年次)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	医学英語 I	人権と社会		医学概論	医学英語 I	自習学習/補講/試験
2	グローバルヘルス概論	医療イノベーション学	医統計学	医学からみた現代社会と倫理	数理・情報科学	
3	医用化学	選択必修共通教養科目A*	生命科学	科学・情報処理実習	細胞・形態学	
4		選択必修共通教養科目B*				

*選択必修共通教養科目A: 「生死論」、「身体と文化の人間学」
*選択必修共通教養科目B: 「教養特殊講義」、「ホスピタルアートによる患者ケア」

時間割 (4年前期)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	テュートリアル事例	テュートリアル事例	事例の発表準備・相互学習	テュートリアル事例	テュートリアル事例	
2	相互学習Q&A	事例のまとめとスライド作製	医学英語	医学英語	事例のまとめとスライド作製	相互学習Q&A
3	腫瘍に伴う発熱(各論)	医学英語	グループ発表・講評	胸痛①	胸痛④	
4	膠原病に伴う発熱(総論)	事例のまとめとスライド作製		胸痛②	事例の発表準備・相互学習	
5	感染症に伴う発熱	膠原病に伴う発熱(各論)	バイタルサインの取り方	胸痛③	グループ発表・講評	
6	腫瘍に伴う発熱(総論)	相互学習Q&A		相互学習Q&A		

1・2年生

世界にはばたく医療人の素養を培う

社会人・医師としての倫理観や基礎教養を身につける時期。世界にはばたく医療人の育成のため、国際化がもたらす社会や健康・福祉への影響、環境汚染、国際感染症や国際保健医療協力について学びます。ネイティブ教員指導のもと、1年生から4年生まで医学英語も学びます。また、1年生から保健所や老人保健施設といった学外施設を訪問することも大きな特徴。2年生からはより専門的な指導であるテュートリアルがスタートします。臨床・研究の両分野で必要となる「自発的に問題の本質に気づく力」を養うため、少人数制で行われるプログラムです。課題となる症例の原因をつきとめるポイントや問題の解決方法をグループでディスカッションし、理解を深めます。教員による一方的な指導ではなく、学生自身の「気づき」と「自発性」を大切にしています。

物事を論理的に考え、筋道を立て理解する勉強が必要

高校の勉強は暗記で乗り切れる部分がありましたが、大学では今まで習った事柄をつなげて、理解していく勉強が必要となるのが違うと感じます。教養では数学、化学、物理など、高校の頃に比べかなり難しくなったので、物事を論理的に



考え、筋道を立てて理解する必要があり、論理的思考力が養われました。講義の内容をノートにまとめたり、通学の時間を復習に充てたりしています。好きな講義は「心理と行動」です。心理学を、日常の具体的な場面を例に挙げて説明してくれるため、自然と理解が進み興味深いです。今後は、国際的な視点を身につけるために、留学に挑戦したいです。

3・4年生

習得レベルをはかり、実習へのスムーズな移行をめざす

幅広い知識を習得する必要がある医療分野の学習を効率よく進めるため、1年間を7つ以上のユニットに分割して学ぶ教育プログラム「ユニット・コース学習」を導入。細分化されたユニットの分野ごとに専門教員が講義を実施します。段階的に学ぶことで知識を整理し、効率よく学習を進めることができます。各ユニット・コースごとに試験が行われ、理解度をはかることで、よりきめ細かな指導が可能です。4年生では、それまでに学んだ医学的知識を評価する「CBT」を受験し、その後患者さんとの信頼関係構築に不可欠な身体診察の基礎を「臨床実習前OSCE (Pre-CC OSCE)」で評価します。客観的な評価で自らの習得レベルを自覚することで、スムーズに本格的な臨床実習に移行できるよう指導します。また、総合大学の強みを生かし、薬学部生や看護学部生と交流する「医薬看連携総論」では、チーム医療の重要性や意義について考えます。

専門性の高い臨床医学で病態・診断・治療の流れが見えるように

3・4年生では、より専門性の高い臨床医学について学修するので、病態・診断・治療といった一連の流れが見えやすくなりました。「バラバラに覚えていた解剖や生理、病態の知識を統合し、臨床像に当てはめることによって、病態生



理を自ら推論する力が身につきました。ユニット・コース学修のメリットは、臓器・器官別に学修することで、関係する解剖や生理、疾病についてまとめて理解できる点だと思います。また、関連する複数の科にわたって学修を進めるので、さまざまな角度の視点を持つことができます。AIにはできない、「あたたかい」医療を提供できる医師になりたいです。



学科・実習紹介

4・5・6年生

時間割 (4年後期)

時限	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00	オリエンテーション	カンファレンス			病棟回診
10:00	手術症例の説明・病棟・手術実習	病棟・手術実習	病棟・手術実習	病棟・手術実習	面談
11:00					
12:00					
13:00					
14:00	手術症例の説明・病棟・手術実習	病棟・手術実習	病棟・手術実習	病棟・手術実習	
15:00					

医学科 [4年] 愛知県立一宮高校出身

4・5・6年生

指導医の指導のもと臨床に立ち会う

4年生後期になると、いよいよ本格的な臨床実習が始まります。臨床実習とは、学生が医療チームの一員として実際の患者診療に従事する実習のこと。指導医が立ち会い、患者さんの了承を得たうえで厚生労働省が定める範囲の医療行為を行い、実践的な学びを得ることができます。近畿大学病院はあらゆる診療科が揃った総合大学病院のため、多様な症例に触れることができるのも大きな特徴です。とくに手術に立ち会う際は、学生たちも真剣そのもの。手技を見学するだけでなく、医療スタッフの動きや手順から総合的に臨床医学を学びます。また、5年生で行われる地域医療実習では、近畿大学奈良病院などで実習を行います。さまざまな課題を抱える地域医療の現場で、医師としてどのように貢献できるかを考えます。

実習により知識と実践が結びつきます

3年生以降は大学の充実した実習システムを活用できるようになり、学びの質が大きく変わりました。座学で知識を覚えるだけではなく、実際の症例をもとに考える「能動的な学び」へと移行した実感があります。専門科目が増えるにつれて、大学の实習設備を使う場面が多くなり、知識と実践が結びつく感覚を持つことができるようになりました。また、新しく整備されたばかりの手術室や病院で実習ができる環境は、非常に恵まれていると感じます。手術の見学では、毎回驚かされることばかりです。実際に術野に立つ機会もあり、目の前で見学できることは大変貴重な経験です。



TOPICS

起業やAIの研究など、精力的に課外活動



特許取得や特許を生かした製品開発を通して社会に貢献することをめざす、イノベーション研究会を立ち上げました。今後は、大阪府内のものでづくりカレッジなど、医工連携推進に努めたいです。また医療におけるAIの活用を学ぶ勉強会で、身体からのデータから疾患発症を予測するAIモデルのプログラミングに取り組んでいます。さらに、USMLE取得をめざすアメリカ医学研究会にも所属し、勉強に取り組んでいます。加えて、東大阪キャンパスで開かれる近畿大学発ベンチャー起業支援プログラムに参加し、起業に必要な視点や考え方についても学びました。このプログラムでは、たくさんのメンターの方々からご指導をいただくことができ、現在、起業に向けて準備を進めています。

総合大学の強みを生かした他学部連携講義や併設病院の協力体制で、近畿大学ならではの学習環境を実現

関西私立総合大学で唯一の医学部をもつ近畿大学医学部では、その強みを生かし、チーム医療を早期に体験すべく薬学部・看護学部と連携した合同学習の場を設けています。さらには、併設されている近畿大学病院を中心に、臨床実習はもちろんのこと、低学年のうちから医療の現場やとりまく環境を体験する実習を取り入れています。

独自の教育プログラムで、幅広い医学の知識とスキルを身につけ、将来さまざまな医療のプロフェッショナルへと成長することができる環境を整えています。

自発的な問題発見・解決能力を修得する独自のステップ

※カリキュラムは2026年度入学生のもので、2027年度は変更になる場合があります。

1年生	2年生	3年生	4年生	5・6年生	
医学英語I 環境と社会 医学からみた現代社会と倫理 人権と社会 心理と行動 グローバルヘルズ概論 数理・情報科学 医療イノベーション学 生命科学 医用化学 医統計学 地域包括ケア実習／総合医学 細胞・形態学 医学概論 人体構造I～IV 科学・情報処理実習 集中講義 プロフェッショナリズム／実習I 共通教養科目選択 生死論 教養特殊講義 ホスピタルアートによる患者ケア 身体と文化の人間学 オンデマンド 暮らしのなかの起業入門 データリテラシー入門	医学英語II 生化学 分子生物学 機能I 心臓・循環器系 内分泌・腎・尿路・血液系 機能II 呼吸器・消化器系 神経系 病因・病態I 生体防御学コース 病因・病態II 微生物学・臨床感染症学 病理学総論 薬理学 プロフェッショナリズム／実習II 医の倫理 医療安全 シミュレーション実習I 病院体験実習 エスコート実習 補完医療 基礎配属実習(3週)	医学英語III 臨床各論I 消化器外科・消化器内科・ 内分泌代謝糖尿病 パーチャル病理診断実習: (消化器、肝臓) 臨床各論II 循環器内科・腎臓内科・ 泌尿器科・心血管外科・ 小児循環器 パーチャル病理診断実習: (腎臓) 臨床各論III 呼吸器内科・ 呼吸器外科・眼科・ 耳鼻咽喉・頭頸部外科 パーチャル病理診断実習: (呼吸器) 臨床各論IV 血液内科・膠原病内科・ アレルギー内科・皮膚科 臨床各論V 脳神経内科・脳神経外科・ 精神神経科・整形外科 形成外科・ リハビリテーション医学 パーチャル病理診断実習: (神経、運動器) 臨床各論VI 産科・小児科・小児外科 プロフェッショナリズム／実習III 院内感染・ 外科概論・多職種連携 キャリアガイダンス テュートリアルI・ シミュレーション実習II・ エスコート実習・ 医療安全・多職種連携・ 感染症学	医学英語IV 臨床各論VII 臨床検査医学・ クリニカルクラークシップ) 放射線診断学・ 救急・麻酔・全身管理 臨床各論VIII 臨床腫瘍学・婦人科学・ 乳腺外科・ 放射線腫瘍学 医薬看連携総論 プロフェッショナリズム／実習IV 医事法学 チーム医療・院内感染 多職種連携 保険制度 臨床実習I (ローテーション型 クリニカルクラークシップ) 社会医学	臨床実習I (ローテーション型 クリニカルクラークシップ) ※4・5年生共通 循環器内科学 内分泌・代謝・糖尿病内科学 消化器内科学 血液内科学 膠原病内科学 腎臓内科学 脳神経内科学 腫瘍内科学 呼吸器・アレルギー内科学 精神神経科学 小児科学 外科学 脳神経外科学 整形外科科学 皮膚科学 泌尿器科学 眼科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 産科婦人科学 放射線医学 麻酔科学 形成外科学・ リハビリテーション医学 臨床検査医学部・ER 救急医学 病理・心血管外科 奈良病院	臨床実習II (選択型 クリニカルクラークシップ) ※5・6年生共通 循環器内科学 内分泌・代謝・糖尿病内科学 消化器内科学 血液内科学 膠原病内科学 腎臓内科学 脳神経内科学 腫瘍内科学 呼吸器・アレルギー内科学 精神神経科学 心臓血管外科学 小児科学 外科学 脳神経外科学 整形外科科学 皮膚科学 泌尿器科学 眼科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 産科婦人科学 放射線医学 麻酔科学 形成外科学 リハビリテーション医学 救急医学 奈良病院 教育連携病院 画像集中コース

充実した学習環境で未来の医療を担う

近年の医学教育は大きく変革を遂げています。医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂や、共用試験 (CBT・臨床実習前OSCE) の公的化などにより、医学部での学びがより体系的かつ実践的になりました。本学では、これらの変化に対応し、学生一人ひとりが質の高い学習環境のもとで、医師としての資質を磨くことができるようサポートしています。

充実した講義・実習と徹底した学修フォロー

近畿大学医学部では、共用試験 (CBT・臨床実習前OSCE) や医師国家試験の全員合格をめざし、実践的かつ効率的な学習環境を整えています。講義や実習を充実させるだけでなく、早期から医師国家試験予備校が提供する教材や模試を活用し、計画的かつ効果的な学習を実現。また、学習環境の提供だけでなく、成績不良者に対する個別フォローを徹底することで、学生の学習意欲を高め、着実な学力向上を支えています。

臨床実習期間の学習環境整備と多角的なサポート

臨床実習がはじまる4学年後期からは、実習により座学の時間が不足しがちになることを考慮し、定期的なビデオ講座や強化講義を実施しています。これにより、学習の質を高めるだけでなく、学生のモチベーションを維持し、実習で得た知識を確実に定着させる環境を整備。さらに、学内外のリソースを活用したサポート体制により、忙しい実習期間中でも効率的に学べるよう支援しています。

「実践的思考力」を養う教育プログラム

昨今の医師国家試験では、幅広い知識に加え、状況を正しく判断し、最適な解決策を導き出す「実践的思考力」が求められています。近畿大学医学部では、テュートリアル(少人数教育プログラム)や臨床実習を通して、学生が自ら問題を発見し、考え、解決する力を伸ばす「問題発見・問題解決型」の教育システムを採用。この学びを通して、学生は単なる知識の習得にとどまらず、現場で求められる判断力や思考力を養うことができます。

医療現場で生かせる能力を育む

医学部での学習は、知識の蓄積だけではなく、それを活用し、患者さんの症状を適切に評価し、最良の治療計画を立案する力を育むことが重要です。近畿大学医学部では、実践的な教育を通して、未来の医療を支える人材の育成に取り組んでいます。充実した学習環境と多角的なサポートのもとで、あなたも医療の最前線を担う医師をめざしませんか？



学科・実習紹介

カリキュラム

TOPICS

総合大学の強みを生かした他学部・多職種連携講義「医薬看連携総論」



医学部・薬学部を有する総合大学ならではのプログラム。医学部・薬学部・看護学部それぞれの専門的知見のもとに、症例や治療計画についてグループディスカッションを実施。専門分野の知識と意見を交換し、医療に対する視野を広げます。早期から医学部生・薬学部生・看護学部生が交流する場を設けることで、より実践的で幅広い学びを経験し、チーム医療のなかで果たすべき役割を考えます。

医学部 [4年]

チーム医療の大切さを再確認

10人ほどのグループにわかれ、医療現場の問題点について話し合いました。同じ課題であっても見え方や課題解決の方法が違い、とても新鮮でした。医師だけではできないことも、多職種と連携することでできることが増えるとわかり、チーム医療の大切さを再確認しました。他学部生との交流は総合大学で学ぶ大きなメリット。将来医師になった際に必要とされるコミュニケーション力や協調性、教養や倫理観を身につけることができると思います。

医学科 [4年] 東京学芸大学附属高校出身

薬学部 [4年]

チーム医療における薬剤師の重要性を理解

専門的な知識を医師など他職種にわかりやすく伝える力や、問題解決能力が身につきました。参加する前はチーム医療という言葉が講義で学んだものの、実際にどのような役割を担うのかは明確ではありませんでした。しかし参加後は、薬剤師としてどのようにチーム医療に貢献できるのか、そして多職種とのコミュニケーションがいかに大切かを実感しました。服薬指導や相談対応を通して患者さんの不安に寄り添える薬剤師になりたいです。

薬学部 医療薬学科 [4年] 熊本県・真和高校出身

医師国家試験対策プログラムの流れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年生			● CBT模試(1)	● CBT模試(2)	● CBT	● 臨床実習前OSCE			● ビデオ講座 (該当者のみ)			
5年生		● 内科BSL必修試験			● 内科実力テスト			● チャレンジ模試 (該当者のみ)		● 総合試験		● 強化講義(該当者のみ)
6年生		● BSL試験		● 強化講義(該当者のみ) ● 臨床実習後OSCE	● 国家試験対策講座	● 国家試験対策講座 ● 総合試験(1)	● 関西公立私立 共通試験	● 予備校模擬試験	● 国家試験対策講座	● 総合試験(2) (該当者のみ)	● 医師国家試験	

共用試験／国家試験対策

医学部海外研修プログラム

国際基準の医療を学び、グローバルに活躍できる医師を育成

近畿大学医学部には、成績優秀かつ人物的に優れた学生を対象に、国際的に通用する医師の育成を目的とした「医学部海外研修プログラム」があります。語学によるコミュニケーションスキルの向上だけでなく、世界の医療現場を自分の目で確かめ、体験することは次世代の医師育成に欠かすことができません。イギリスやタイなど複数の国から自分の興味に基づいた研修先を選択し、臨床ローテーションに参加しながら、国際基準の医療を学びます。世界レベルの医療を経験することで、将来の医療を担うグローバルな視点を持った医師の育成をめざします。

世界の医療を経験する医学研修

語学や文化研修だけでなく、臨床実習を通して、世界レベルの研究室や医療現場を経験できるプログラム

研修費は、近畿大学が全額負担

往復の渡航費から、滞在中の宿泊費、傷害保険を大学が負担

安全確保と学びのバックアップ

渡航中は安否確認を徹底。帰国後は、研修修了証を授与。論文発表、近畿大学医学会雑誌への投稿もバックアップ



コース	実施施設	人数	期間
欧州コース	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(イギリス)	4名程度	3月の春期休暇中 約2週間
	ベトナム国家大学ホーチミン市校(ベトナム)	4名程度	
アジアコース	チュラロンコン大学(タイ)	4名程度	
	台北栄民総医院(台湾)	2名程度	
中東コース	ブルジール・ホスピタル(アラブ首長国連邦)	2名程度	

2026年度予定。現地の情勢等により変更または中止となる場合があります。

TOPICS

国際NGO活動やUSMLEに挑戦

IFMSA(国際医学生連盟 International Federation of Medical Students' Associations)は、非営利・非政治の国際NGOです。私は将来海外で医師として働くことを考えており、国際交流や留学をしやすいIFMSAに参加しています。活動は、海外の医学生を近畿大学へ受け入れ、大学や大阪の案内をするというものです。留学生と話す時は『医学英語』の講義で学んだ言葉を使うことが多いので助かっています。また、1年次に『グローバルヘルス概論』という海外の医療事情の講義もあり、その知識が役に立っています。留学生と話すなかで感じたのは、日本と海外の医療制度の違いや、各国で主に必要とされている医療物資の違い。先進国で足りない医療物資といえば医療機器を想像しますが、まだ発展の段階にある国々では抗菌剤があればほとんどの病を防ぐことができるものの、それらが足りない状況があることを知りました。現在は、アメリカなど多くの国で使える医師免許であるUSMLE(United States Medical Licensing Examination)取得に向けて勉強をしています。近畿大学ではUSMLEを取得されている先輩方が複数名いらっしゃるので、その先輩方の勉強方法を参考に頑張っています。



医学科 [4年] 愛媛県・新田青雲中等教育学校出身



プログラム参加者の声

日本では症例の少ない脳死肝移植を見学

研修先：ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(イギリス)



医学部の講義で培った知識を海外の臨床の現場で実践するとともに、海外の医療システムの長所、短所を知りたいと、このプログラムに参加。また、臨床研修プログラムに参加した先輩の報告を聞いて刺激を受けたことも理由の一つです。派遣先では、担当の教授のチームのスケジュールに沿って実習を行いました。週によって異なるカンファレンスに毎日参加し、日によって回診、外来見学、手術見学を行いました。病院スタッフの出身はさまざまで、その英語を聞き取ることは難しかったものの、英語は共通語であり、身につけるべきツールであることを実感しました。研修では多くの人に会い、多様な文化や価値観に触れることができました。この学びを、自分だけのものではなく医療の場に還元できるよう努めたいです。

医学科 [6年] 福岡県・明治学園高校出身

1週目

胆嚢摘出術、肝切除術、肝移植術などの手術を見学。とくに肝移植は、日本では少ない脳死肝移植を見学しました。ドナーとして提供された肝臓の移植前処理から移植手術まで見学できたことは貴重な経験です。患者さんを変えた肝移植説明会では移植コンサルタント、移植カウンセラーの方々の役割を知り多職種連携の重要性を実感しました。

2週目

病院内で、外来見学、病棟回診への参加や現地学生と交流。現地学生に混ざっての講義では、教員が教えるのではなく学生が症例を挙げ、どんなことが考えられるか、次の検査や治療はどうするかなど、学生自身が他の学生に講義をしていたことが印象的でした。

休日の過ごし方

大英博物館やナショナルギャラリーといったミュージアム・ギャラリーを巡ったり、ミュージカルを鑑賞したりと、観光スポットを楽しみました。道に迷っていると声をかけてくれたり、案内してくれたり、現地の方々の優しさに触れることができました。



現地の学生の英語力と臨床能力の高さに刺激を受けました

研修先：ベトナム国家大学ホーチミン市校(ベトナム)



発展途上国の医療に興味があり、医療の現状を自分の目でみたいとこのプログラムに参加。ベトナム国家大学の5年生が行っている臨床実習に参加し、各科の先生や学生に患者さんやその疾患について説明していただいたり、ディスカッションに参加して自身の意見を述べたのですが、ベトナムの学生の英語力の高さや臨床能力の高さに驚きました。学生は患者さんについて深く理解しており、チームの一員として医療に関わっているだけでなく、貪欲に学ぶ姿勢にも感銘を受けました。私も熱心に勉学に取り組み、積極的にさまざまなことに挑戦したいです。そしてこれから英語学習を継続し、外国人の患者さんにも安心して医療を受けてもらいたいです。

医学科 [6年] 奈良県・智辯学園高校出身

1週目

小児科病院で感染症内科と血液内科を見学。感染症内科では髄膜炎や手足口病を、血液内科ではITPやサラセミアの患者さんを診ました。症例検討会で患者さんの疾患に関して先生と学生とディスカッションもしました。

2週目

産婦人科病院で中絶やHPVワクチンに関するディスカッションに参加。中絶のディスカッションでは実際の症例をもとに制度や教育の在り方を日本と比較して議論しました。またHPVワクチンについての論文を要約し、学生や先生の前で発表してディスカッションを行いました。

休日の過ごし方

戦争証跡博物館に行ってベトナム戦争について学びました。ホルマリン漬けにされた奇形児を見て、大量に撒かれた枯葉剤の悲惨さを目の当たりにしました。とくに思い出に残ったのはメコン川クルーズで、東南アジア最長のメコン川で豊かな自然を味わいました。



多様性や信仰に配慮した医療体制を知りました

研修先：ブルジール・ホスピタル(アラブ首長国連邦)



将来、国内外の医療現場で貢献できる医師になりたいと研修に参加しました。見学した腫瘍内科では、外来や往診、化学療法処置に立ち会い、週に一度行われるがんサロボードでは院内の全がん患者さんの治療方針についての議論を聴講しました。ラマダン期間中で診療は15時までと短い一方、患者さん一人ひとりと丁寧に話し、患者さん自身も治療や病気について積極的に意見を述べる姿を間近で見ることができました。さらに、現地の医師に日本人医師の平均的な休日数を伝えた際に驚かれた経験から、持続可能な働き方を考えるようになりました。一方で、保険の種類やランクによって選択できる治療が制限される現地の制度を知り、日本の公的保険制度が高度な医療を提供している価値を再認識しました。

医学科 [5年] 兵庫県・甲南女子高校出身

1週目

血液内科で外来診療、がんサロボードカンファレンス、化学療法の様子を見学。日本では珍しいサラセミアやヘモクロマトーシスの症例を経験し、疾患背景の病院に通訳が常駐しているのは多国籍国家である地域差を実感しました。信仰に配慮し、待合室が男女別であったり、医師が同性の患者を担当したりするなどの文化や宗教を尊重し、体制が印象的でした。

2週目

看護師や薬剤師、通訳などのメディカルスタッフと話す機会があり、それぞれの役割を学びました。UAEならではの、中東やアフリカに関する自身の理解が浅かったかを痛感しました。また、産婦人科では帝王切開のオペにも立ち会いました。

休日の過ごし方

シェイク・ザイド・グランドモスク、ルーブル・アブダビ、ドバイを訪れました。モスクでは、純白の大理石が壮麗なイスラム建築に圧倒されました。ルーブル・アブダビでは、ダイナミックな建築と中東から見た世界史の展示が印象的でした。



近畿大学の2病院が実現する充実の研修プログラム

プライマリ・ケアと高度先進医療を実践できる研修プログラム。
多分野にわたる研修メニューから、医師としての将来像を確立していきます。

臨床研修プログラム

近畿大学医学部は、本院である近畿大学病院と奈良県生駒市の近畿大学奈良病院という2つの病院を有し、総病床数は約1300床、あらゆる診療科に対応した国内有数の研修環境を誇ります。とくに近畿大学病院は大阪南部における地域基幹病院としての役割を果たし、プライマリ・ケアの基本的な診療能力から、高度先進医療まで多種多様な医療を学べる環境です。現在、近畿大学病院では「臨床研修プログラム」と「周産期・小児科・産婦人科プログラム」、近畿大学奈良病院では「臨床研修プログラム」を実施しており、それぞれ自由度の高い研修プログラムで、将来につながる研修を研修医自身で組み立てることができます。

近畿大学病院の研修プログラム

《1年目》

8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	4週
内科(基本プログラムの場合)1~3診療科を自由に組み合わせて選択 循環器 内分泌・代謝・糖尿病 消化器 血液・膠原病 脳神経 腫瘍 呼吸器・アレルギー 腎臓		救命	麻酔科	麻酔科 または 外科	外科	産婦人科	精神科

- 内科研修は、12週単位と8週単位で2診療科を選択。(20週で1診療科を選択することも可能)
- 救命部門では、救命救急センターで8週、全身管理として4週の麻酔科研修を行う。
- 必修として外科、産婦人科、精神科研修をそれぞれ4週ずつ行う。

《2年目》

4週	4週	4週	40週
一般外来 院外研修	小児科	地域医療	自由選択

- 地域医療は、2年目に実施。
- 一般外来、小児科の院外研修は他施設にて実施。
- 40週を選択科とする。

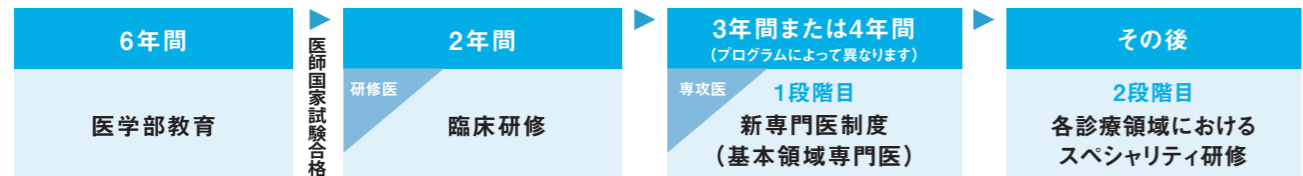
専門研修プログラム

臨床研修プログラム修了後、新専門医制度に基づいて、専門医を育成するための専門研修プログラムから専門性の高い研修を受けることができ、専門医資格を効率的に取得することができます。さらに、救命救急センター、脳卒中センター、心臓血管センターなどで、幅広い研修も可能です。

TOPICS

研修修了後、全ての領域の専門医研修に対応

新専門医制度として、近畿大学病院では18診療科(内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、臨床検査、救急科、形成外科、リハビリテーション科)の専門プログラム研修を2018年度から開始しました。大学病院ならではの専門性の高い診療を行っており、専門医資格取得には最適な研修病院となっています。



臨床研修医インタビュー | 1年目

医師としての基礎を築く充実した研修生活

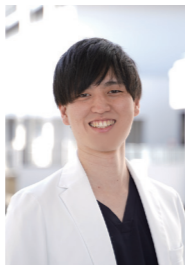


【2025年度卒業】
臨床研修医

臨床研修医として、入院患者さんの病棟管理や救急外来での対応、日々の診療に取り組んでいます。多忙ですが、医師としての基礎を築く充実した研修生活を送っています。6年生の頃は臨床実習では見学が中心でしたが、現在は、指導医のもと実際に診察に関わりながら自分で考え、判断し、選択する場面が増えました。実際に経験した症例を通して学ぶことで、より実践的な知識を得ることができる点も大きな違いです。近畿大学病院は専門性の高い診療科が揃っており、高度で先進的な医療や臨床研究に触れられる一方、ERをはじめとしたプライマリケアにも積極的にかかわることで幅広い症例を経験でき、専門性と総合力の両方をバランスよく学べる環境です。将来は外科医として、患者さん一人ひとりに最良の医療を提供できるように幅広い知識と確かな技術を習得したいです。

専攻医インタビュー | 3年目(卒後3年目)

「責任と自覚」が研修医との違い



【2023年度卒業】
専攻医

小さなこどもが好きで、こどもと密接に関わるのでできる小児科を選びました。大学院へも進学しており、臨床、研究、教育と大学病院ならではの毎日を送っています。毎日新しいことを学び、新たな反省が生まれ、それを繰り返すことで成長を感じています。自らの成長が患児のためになり、ご家族のためになり、社会のためになる、こんなに素晴らしい仕事はないと心から思います。臨床研修医の時との違いは、責任と自覚です。研修医の時は、逐一報告をした上で様々なアクションをとっていましたが、専攻医では自身の判断が要されることが度々あり、自分の判断が患者さんの利益にも不利益になることを強く感じます。もっと上手くできればと歯痒いことばかりですが、コミュニケーションを大切にし、日々の研鑽を怠らず、関わるすべての人に信頼される医師をめざします。

医学研究科

「研究医と臨床医」双方のプロフェッショナルを育成

医師としての能力、人格を高め、世界で活躍する医療人材の育成も見据えたプログラムと、研究医養成を目的とした「基礎医学系」、臨床医養成を目的とした「臨床医学系」との2コースがあり、希望に応じて研究医と臨床医、どちらかの道を選択できます。学生一人ひとりの個性に寄り添った教育で、着実なステップアップをサポートします。



専攻分野とコース

一般コース

高度な科学的素養をもち将来自立して研究のできる研究医・臨床医をめざすコース

- 神経構造機能学 ■システム脳科学 ■分子生体制御学 ■分子腫瘍病態学 ■細胞病態制御学 ■薬理学
- 分子病理学 ■神経ウイルス学・免疫学 ■免疫応答制御学 ■予防医学・行動科学 ■疫学・健康科学 ■法医学
- 循環器内科学 ■腎臓病態制御学 ■内分泌代謝病態制御学 ■血液・免疫・膠原病/機能制御学(一般コース)
- 呼吸器・アレルギー病態制御学 ■神経病態制御学 ■消化器病態制御学 ■精神病態医学 ■発達小児医学
- 環境皮膚病態学 ■放射線診断・画像応用治療学 ■臨床検査医学 ■臓器病態制御外科学I
- 臓器病態制御外科学II ■臓器病態制御外科学III ■臓器病態制御外科学IV ■運動器機能病態制御学
- リハビリテーション医学 ■腎泌尿器外科学 ■視覚科学 ■感覚器頭頸部外科制御学 ■女性機能病態・周産期医学
- 麻酔・疼痛制御・集中治療学 ■神経機能制御外科学 ■心血管機能制御外科学 ■形成・再建外科学 ■救急医学

がんプロコース

がん治療やがん予防の進歩にサステナブルに対応できるがん専門医療人を要請することをめざすコース

- 分子病理学(分子腫瘍病理学コース)
- 医学物理学(高度先端医学物理研究者養成コース)
- 血液・免疫・膠原病/機能制御学(次世代対応型造血器腫瘍・がん薬物療法専門医養成コース)
- 腫瘍病態制御学(個別化医療を推進する腫瘍内科学コース)
- 腫瘍病態制御学(がん専門薬剤師コース)
- 腫瘍病態制御学(がん専門基礎研究[正規課程]コース)
- 放射線腫瘍学(放射線腫瘍学先端研究者養成コース)
- 臓器病態制御外科学I(下部消化管腫瘍外科専門医養成コース)
- 臓器病態制御外科学II(肝胆膵外科専門医養成コース)
- 臓器病態制御外科学III(呼吸器腫瘍外科専門医養成コース)
- 臓器病態制御外科学IV(多様化する上部消化管がん集学的治療に対応できる外科医養成コース)
- 緩和医療学(がん緩和医療専門医養成コース)

実学社会起業イノベーション学位プログラム(修士課程)

社会課題の解決に挑む人材を育成する「実学社会起業イノベーション学位プログラム(修士課程)」では、起業経験者に限らず、これから起業をめざす方や、NPO・NGOなどで課題解決に取り組む方まで幅広く受け入れています。理論と実践を体系的に学び、事業構想を磨き上げながら、持続的な成長と社会的インパクトの創出をめざします。起業家や企業・団体で活躍する方がメンターとして、学生一人ひとりのテーマに応じて伴走型で指導します。さらに、ビジネスプランを発表するピッチで外部の専門家から意見を得て、事業の完成度と実現可能性を高めます。





運動系・文化系あわせて30を超えるクラブ

医学部には、学生生活をより豊かにする30以上のクラブがあります。
心身ともに成長できる場として、かけもちで活動する学生も。
試験や実習、将来について相談できる先輩や、仲間とのつながりができます。

- 運動系**
- 準硬式野球部
 - サッカー部
 - 水泳部
 - 剣道部
 - 柔道部
 - 合気道部
 - 空手道部
 - 弓道部
 - ラグビー部
 - スキー部
 - テニス部
 - 卓球部
 - バスケットボール部
 - バレーボール部
 - バドミントン部
 - 陸上競技部
 - アメリカンフットボール部
 - ダンス部
 - フットサル部
- 文化系**
- 華道部
 - 軽音楽部
 - コレギウム・ムジクム部
 - 茶道部
 - 写真部
 - 奇術部
 - CPC(Connect Physician in the bud to Clinical Interesting things)部
 - IFMSA-Kindai Exchange
 - 美術部

キャンパスライフ

体育館



茶室



防音室



医学部生の1日

勉強する日、部活動や遊ぶ日とメリハリをつけ学生生活を送っています

勉強や部活動、友人関係など、どれをとっても充実した毎日を送っています。勉強は大学のチュートリアル室ですることが多いです。チュートリアル室は、壁の一面がホワイトボードになっており、学修したことを書き出してアウトプットして復習するのに適しています。テスト前の休日は、ここに1日籠って勉強しています。私は、隙間時間の活用が苦手で、勉強する時は集中して長い時間続けて行うタイプです。そのため、今日は勉強をする日、今日は遊ぶ日と一日単位でメリハリをつけて過ごすように心がけています。放課後は部活動に動んだり、同じ趣味を持つ友達や先輩後輩と遊びに行ったりしています。休日は、日帰りの旅行に行くこともあります。部活動はダンス部に所属しているのですが、チームで練習したり、イベントで他大学の学生と交流したりと、とても有意義な時間を過ごしています。

「やるべきことを先に終わらせる」を徹底 隙間時間を見つけて勉強しています

平日は大学からの帰宅後に、自宅で勉強することが多いです。また学校でも隙間時間を見つけては教材を見返すようにしています。休日はカフェでゆっくりと勉強することで、気分転換しながら継続できるよう工夫しています。テストや実習もあり大変ですが、隙間時間を見つけて取り組むことで、メリハリをつけて過ごしています。部活動では剣道部にマネージャーとして入部し、友人との交流が広がりました。勉強と友人との時間のバランスが取れた日には、学生生活を楽しくしていると強く感じます。実習のない日はピラティスで体を動かしたり、友達とご飯を食べに行くことが多いです。「やるべきことを先に終わらせてから自由時間にする」ということを徹底しています。テスト期間は1日にどこまで進めるかを明確に決め、達成できたら好きなことをするというルールを作り、やるべきことを先に片付けることで、休む時間も安心して楽しむことができます。



医学科 [2年] 兵庫県・甲陽学院高校出身



医学科 [5年] 和歌山県・開智高校出身

学生サポート

健やかな学生生活をバックアップする、きめ細かな制度

毎年全国各地から集まる新入生たちは、誰もが希望と不安を抱いています。

その一人ひとりが健やかな学生生活を送れるように、さまざまな福利厚生制度を設置。健康の維持管理をはじめ、生活全般にわたってきめ細かくサポートしています。

学生健保共済会	医療費負担をサポート 学生健保共済会は、全学生が会員になる相互扶助制度です。入学とともに自動的に会員になりますので、加入のための手続きはとくにありません。		
保健管理室	学内でのけがや急病の際に応急手当や処置を行うなど、学生の健康を見守っています。	学生相談室	臨床心理士が学生生活の悩みや不安に対する相談に応じるなど、より良い学生生活を送るためのサポートをしています。
リクラブ	加盟店約200,000店舗以上の優待サービスが受けられます。		

2026年度のものであり、変更になる場合があります。



メンター制度

先輩医師である教授陣に学生生活の悩みを相談できます

日頃の学校生活のことはもちろん、アルバイトなど個人的なことや将来働きたい病院のことなど、幅広く相談に乗っていただいています。とても気さくに話してくださるのでリラックスして自然と話したいことが話せています。とても話しやすく、気さくであたたかさを覚えます。



学生の生き立ち、医学部を受験した動機、生活のあり方、学習方法、趣味、特技。こうした事柄を適宜ヒアリングし、学生とともに良い点・問題点を洗い出し、その学生にあった対応方法を検討できることがこの制度のメリット。個々の学生に「刺さる」言葉を探しよう心がけています。言葉が刺さる瞬間とは、新たな価値観を得たり拡大したり、その学生が成長・成熟する瞬間でもあります。好きなスポーツや好きなゲームなど、それぞれの学生が興味のある分野を聞き出し、それらに関連したキーワードから医学学習に展開するような論法を意識しています。

藤田 貴 准教授 医学部教育センター

医学科【4年】 大阪府立八尾高校出身

奨学金

奨学金は2026年度入学生のもので、2027年度は変更になる可能性があります。詳細は近畿大学ホームページをご参照ください。

医学部独自の奨学金			
区分	時期・期間	名称	内容
給付	5、6年生対象	KINDAI病院奨励賞	年額／ 1,000,000円 ・成績優秀者かつ人物的に優れた学生。 ・臨床研修を近畿大学病院で2年以上行うこと。 ・5年生で受給の場合は6年生での申請不可。

近畿大学独自の奨学金			
区分	時期・期間	名称	内容
給付 (返還不要)	在学中	世耕弘一奨学金 (給付) ※1	年額／ 300,000円
貸与 (無利子・一括型)	在学中	近畿大学奨学金 (定期採用) ※2	年額／ 600,000円

※1 入学前予約採用型の制度もあります。 ※2 薬学部医療薬学科は年額/800,000円

日本学生支援機構奨学金 第一種、第二種とも高等学校などに籍時に予約採用の制度があります。在籍の高等学校などにお問い合わせください。			
区分	時期・期間	名称	内容
貸与 (無利子・有利子)	在学中	第一種奨学金 (無利子・選択型)	〈自宅通学〉月額 20,000円～54,000円 〈自宅外通学〉月額 20,000円～64,000円 (家計支持者の収入基準額により選択できます。最高月額は併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます)
		第二種奨学金 (有利子・選択型)	希望する奨学金の月額を次のなかから選べます。 20,000円～120,000円 (1万円単位から選択) 貸与途中で月額を変更することもできます。 ※医学部40,000円、薬学部20,000円の増額も可能。(ただし、120,000円を選択した場合のみ) 利息① 利率固定方式 (貸与終了時に決定する利率で最後まで返還)、② 利率見直し方式 (返還期間中おおむね5年ごとに見直しされる利率で返還)より選択します。卒業あるいは退学した翌月から月単位で利息が計算されます(在学中および返還期限猶予期間は無利息)。

高等教育の修学支援制度

高等教育の修学支援制度(授業料などの減免と給付型奨学金)について2019年9月20日に近畿大学および近畿大学短期大学部は文部科学省から対象機関として認定を受けています。

高等教育の修学支援制度はこちらから



↑クリック

医学部の教育方針

医学部の使命

本学の教育の目的に基づき、人に愛され、信頼され、尊敬される医師、卒後に必要な医療の実践力とさまざまな医療分野で活躍できる知識・資質を有する医師、国内外の医療・保健・福祉において社会的貢献ができる医師、医学の進歩に対応できる継続的な学修心・研究心を持つ医師を育成することを目指します。

アドミッション・ポリシー (入学者受入れ方針)

医学部は、近畿大学建学の精神に則り、「実学教育」と「人格の陶冶」を目指します。また教育の目的に則り、「人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される医師」の育成に努めます。本学の「建学の精神」と「教育の目的」に共感し、将来、良き医師として社会に貢献することを志望する下記の資質・能力をもつ入学者を受入れます。

1. 医学を志し、そのために必要な強い意思と高い理想を持つ人。
2. 医学の課程を学ぶために十分な基礎学力と継続的学修姿勢を備える人。
3. 自ら課題を発見し、解決していく意欲にあふれる人。
4. 奉仕の精神と協調精神に富む人。
5. 倫理観と責任感に富む人。
6. 医療を通じて地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人。

また、医学部に入学するまでに、医学学修の基礎となる以下の教科についての履修と十分な知識・理解・修得を望みます。

国語	専門教科書レベルの読解力、及び標準以上の表現力、発表力、論理的思考力など
外国語	専門教科書レベルの読解力、及び基本的な文章力と会話力
数学	「数学I・数学II・数学A・数学B(数列)・数学C(ベクトル)」
物理	物理基礎・物理
化学	化学基礎・化学
生物	生物基礎・生物
地歴・公民	個人と社会を取り巻く様々な状況を理解し、的確に対応するために必要な知識と教養

入学試験での評価は、以下のように行います。

基礎学力については、個別学力試験、大学入学共通テストおよび小論文で評価します。医師としての高い理想、自ら学ぶ意欲、奉仕の精神、協調精神、倫理観、責任感については、小論文、面接で評価します。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学では「建学の精神」と「教育の目的」に基づいて、「深い教養と高い志を持ち、社会を支える気概を持った学生を育成し、社会に送り出すこと」を最終教育目標としています。医学部では、これに基づき、広い学問的視野・知識・技能・継続的な学修姿勢とともに奉仕の心と高い倫理観を有し、国内外の医療・保健・福祉に貢献できる「人に愛され、信頼され、尊敬される医師」を育成します。6年間にわたる全教育課程を修了し、以下の資質・能力を身につけた学生に学士(医学)の学位を授与します。

1. 卒後に必要な医学の知識・技能・態度を修得し、医学の進歩に対応できる生涯学習の姿勢を身につけている。
2. 医療の社会的役割を理解し、地域社会・国際社会に貢献できる。
3. 積極的に課題に取り組み、医学研究に発展させる問題解決能力を身につけている。
4. チーム医療・患者への対応に必要なコミュニケーション能力と協調精神を身につけている。
5. プロフェッショナルとしての高い使命感と倫理観を持ち、患者・生活者を総合的に理解する姿勢を身につけている。

教育アウトカム

倫理とプロフェッショナリズム	人の健康と命を守るという医師の職責を十分に自覚し、医師として社会からの信頼が得られるように、高い倫理観と医師に相応しい教養、品格、礼儀を持ち、品行を常に高く保つ。患者の多様性・人間性を尊重し、奉仕の精神に基づいた利他的な医療を通じて社会に尽くす。
卒後に連結する医学的知識と診療技能	医学及び関連する分野の知識と技能を身につけ、それらを活用することは、医師としてのあらゆるコンピテンスの基本となる。卒業研修における医療の質と患者の安全を担保するために、医学教育モデル・コア・カリキュラムに記載されている卒業時に必要な医学的知識と確実で患者から信頼される診療技能を身につける。
コミュニケーション能力	患者・家族の課題を把握し、医療内容のわかりやすい説明を通じて良好な関係性を築き、患者・家族の意思決定を支援する。また、医療チーム内での適切な情報の共有、意志決定への参画、他の診療科との連携など、円滑な診療を通じて質の高い安全な医療を実践する。これらに必要な非言語コミュニケーションを含めたコミュニケーション能力を有する。
チーム医療と医療安全	患者・家族の医療・保健・福祉・介護などに関わる全ての職種役割を理解したうえで、医療チームの中で信頼関係を築きながら協働し、互いの知識・技術を活かし合い、医師としての役割を全うできる。医療安全に必要な基本的知識と技能、患者の安全を常に第一に考える態度を身につけ、チーム医療の中での安全管理を理解し、ルールを遵守する。
国内外における医療の社会的役割の理解	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点、地域性の視点、また、国際的な視野を持ちながら、これらを理解したうえで、公正な医療を提供し、公衆衛生の向上に努める姿勢を持つ。また、患者の健康観や社会的背景を理解したうえで、社会科学の視点・理論・方法を通じて、医療、介護、福祉などに活用する能力を持つ。
課題解決能力と医学研究への発展	分子レベルから個体レベルまでの科学的思考に基づいて各種疾患の病因と病態を理解し、エビデンスに基づいた医療を通じて課題の解決に当たる。未解決課題に対しては、科学的思考を基盤として、医学研究に発展させる姿勢をもつ。
自律的継続的学習能力	安全で質の高い医療を実践するために、日々刷新される医療情報、医療技術について、自ら学び、生涯にわたって自己研鑽を続ける資質をもつ。また、自ら得た知識を後輩などの周囲の医療関係者への教育にも活用する。
医療の国際化に対応できる能力	国内のみでなく国際社会の中で規定される医療の役割と医療体制について概要を理解し、社会背景、言語、文化の違いを超えて適切な医療を実践する能力を身につける。
総合的な患者・生活者理解に基づく診療姿勢	患者・家族が抱える問題を、年齢、文化的、社会的背景を踏まえて総合的に理解し、自身の専門領域にとどまらず臓器横断的に捉えた上で、患者・家族のニーズに応じた診療を行い、個人と社会のウェルビーイングに資する診療姿勢を身につける。
情報・科学技術を活かす能力	質の高い医療・医学研究を実践するために、発展し続ける情報化社会において新たに開発される人工知能などの情報・科学技術に関する基本理論を理解し、自身の学修や医療・医学研究に活かす能力を身につける。
地域医療・保健医療・福祉への貢献	医療へのアクセスの容易性、医療資源の充足など、各地域の医療体制における医療・保健・福祉・介護の現状及び課題を理解し、これらに関わる組織、専門職と積極的に協働し、ヘルスケアシステムの質向上に貢献する姿勢を身につける。また、医療の基本としてのプライマリ・ケアの実践能力を獲得し、地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて医師としての役割を果たすことができる。